2010年（平成22年）
7/5
月曜日
隔日刊　第7759号

センイ・ジャァナル

毎週　月曜・水曜・金曜　発行
昭和22年7月1日第三種郵便物認可
昭和51年7月28日国鉄大局特別扱承認新聞第213号

THE TEXTILE JOURNAL
発行所　株式会社　センイ・ジャァナル
〈URL〉http://www.s-journal.com

本　社
〒530－0045　大阪市北区天神西町4－12
電話（06）6364-2731（代）　FAX（06）6364-2740
振替口座　大阪2－10328
東京支社
〒103-0004　東京都中央区東日本橋3－6－18
電話（03）3668-4886～9・4805　FAX（03）3668-4880
中部支社
〒451-0062　名古屋市西区花の木3－9－11
電話（052）531-1508～9　FAX（052）532-1859
©株式会社 センイ・ジャァナル（2010年）

miki HOUSE
http://www.mikihouse.co.jp
MIKI SHOKO CO.,LTD.　072-920-2111

ナル 2
4
6

人材確保難　コスト高
厳しさが増す
中国の繊維製品生産現場
納期遅れや品質悪化

衣料品をはじめ今やわが国の繊維製品のほとんどを生産している中国の製造現場で、生産コストの増加と人材の確保が厳しくなってきていることが、一段と大きな問題としてクローズアップされてきている。米国経済の復調や中国人自身の考え方の変化、原料価格のアップなどの影響で、中国の繊維産業における生産現場は今後、今以上に厳しくなる傾向にある。

条件良い地区へ工場シフト進む

中国ではこの十数年来、経済の発展に伴った人件費が年々アップしてきているが、ここ数年間は日本をはじめとする先進国から繊維産業以外の産業の進出が相次ぎ、また、中国国内でも地元資本の企業が繊維産業以外の分野で数多く立ち上がり急激に成長してきていることから、これまで製造業をはじめとする繊維産業で労働に従事していた人材が、より収入の高いこうした分野に流れ、繊維産業に従事する人員の確保が年々難しくなってきていた。

こうした傾向は今年に入り一段と顕著になり、2月の旧正月明けには例年ならば8～9割は戻ってきていた従業員が、半分も戻らなかった工場も出るなど生産現場に大きな影響を与え、こうした工場を生産基盤に持っていた日本の商社やアパレルの中には、納期遅れや納入された商品の品質の極端な悪化などに見舞われた企業も少なくない。

こういう事態に陥った背景には、他産業との競合に加え中国人の意識の変化があり、80年代以降に生まれた中国人は、日本人同様に給与が高くとも残業を嫌がるようになり3Kの職業を嫌う、自らが稼いだ給料を自分の楽しみのために使うなどで、繊維製造業に人が集まりにくくなってきている。

5月以降はこうした状況もとりあえず一段落したものの、中国における繊維製造業を取り巻く環境はますます厳しくなってきており、人件費の面では従来年1回だった賃上げが上海地区では最近は年2回になり、この半年～1年ぐらいで上海地区の賃金も10%程度上昇しており、また原材料費も綿が10%以上上がっているほかアクリルの価格も上がっているなど上昇傾向にあり、人件費増と併せて大きな逆風となっている。

そのほか、人民元の切り上げやアメリカの景気の復調もこれから中国での繊維製品製造に影響を与えるようになると見込まれるなど、今後はさらに厳しい状況になると見られ、上海地区では縫製は成り立たなくなると見る企業も出ている。

こうした中で、ベトナムやミャンマーなど第3国への生産移転が以前から言われているが、これらの国々はインフラや原料背景、日本からの距離などのあらゆる角度から見て中国にかなわず、上海周辺からよりコストの安い青島地区や大連地区、あるいは杭州地区や寧波地区などにシフトすることで対応していく企業が大半だ。

また「品質の良い既存の工場との取り組みをより強化して品質を安定させるとともに、品質の良い新規の工場の開拓も進めていく」（モリリンメンズアパレルグループ）や「既存の工場の中のよりレベルが高い所とのパイプを太くしていく一方、中国において高品質でコストの安い工場の開拓も行っていく」（ヒロタエトレーヌ事業部）など、既存の協力工場の中で品質の高い工場との取り組みをさらに強化していくことで、対応していくことを考えている企業が多い。

松屋銀座本店インナー・レッグ売り場
『ル・ランジェ』好調
モールドブラ、補整インナーけん引

松屋銀座本店のインナー・レッグ売り場「ル・ランジェ」が好調だ。インナーウエアの6月の売り上げは前年比11%増。レッグウエアは3～6月の春夏商戦トータルで二ケタ増を達成している。

特に動きが良いのは、インナーではモールドブラと補整インナー。モールドブラは、従来の無地物ではなく、レースやプリント柄をアクセントに取り入れるなど、デザイン性のあるものがより健闘していた。また、補整インナーは、お腹や姿勢をサポートし、夏服をきれいに着こなせるアイテムが順調。店頭で大々的に打ち出したところ大きな反響を得た。

一方、レッグではレギンス、プレーンストッキングが動いた。昨年はレギンスが在庫切れしたため、この春夏では在庫を十分に確保し、店頭でのファッション提案を強化したことが奏功。プレーンストッキングは、市場全体では停滞傾向にあるが、「ル・ランジェ」では国産品、インポート品ともに品ぞろえを充実させているため、レッグの売り場のフロアを分けていることがほとんどだが、「ル・ランジェ」は〝女性の肌に一番近い〟という観点から二つのカテゴリーを集積。

そのため、インナーとレッグを横断したフェアの開催が可能で、昨年はクリスマスシーズンに〝うちエコフェア〟として、ルームウエアとルームソックスをまとめて「家の中でのクリスマス」スタイルを提案。3月にも「春のエコフェア」として同様の展開をしたところ、売り上げアップにつながった。

売り上げの中心となっている。同時に同店には銀座という立地柄、外国人観光客も多く訪れるが、中国人を中心に国産ストッキングが人気。品質の良さが支持されている。

百貨店では、インナー売り場とレッグウエア売り場のフロアを分けていることがほとんどだが、「ル・ランジェ」は〝女性の肌に一番近い〟という観点から二つのカテゴリーを集積。

そのため、インナーとレッグを横断したフェアの開催が可能で、昨年はクリスマスシーズンに〝うちエコフェア〟として、ルームウエアとルームソックスをまとめて「家の中でのクリスマス」スタイルを提案。3月にも「春のエコフェア」として同様の展開をしたところ、売り上げアップにつながった。

化繊協会
新会長に日覺東レ社長
新市場開拓に意欲

8回アジア化繊産業での日本からの主張とすべく、共通課題の抽出、とりまとめの準備を進める。

09年度も微増収に
ジュピターショップチャンネル

ジュピターショップチャンネルの09年度3月期の売上高は1090億円（前年比2・5%増）で着地。08年度から決算期を変更しており、08年1月～09年3月の売上高1317億円、08年4月～09年3月の売上高1065億円。視聴可能世帯数は、2010年3月末現在で、約2579万世帯（前年末対比5・6%増）。これまで、売り上げ、視聴世帯数ともに急拡大してきたが、増収率、増加率がなだらかになってきた。

09年度は、アラフォー世代の自分磨きを応援する「ヴィーナスナビ」、ショップチャンネルのプライベートブランド「シンプレッスン」など、さまざまな新番組を開始。顧客の維持・拡大のため、大手アパレル、大手化粧品の取り扱いをはじめ、楽天やファッションウォーカーなどのさまざまな企業とのコラボを積極的に行った。11月1日に放送した13周年特別番組では、1日あたり過去最高の11億円を超える売り上げを達成した。

14年目を迎える今年度は、以下を重点施策に掲げ、さらなる飛躍を目指す。①CATVとの関係強化による配信枠拡大および視聴誘導促進②さらに、かつ従来の草木染めに比べてより安全性に配慮した染色技法を採用しているという。

この染色技術を活用して、エムアンドエムソックスは、カテキン染めによる消臭タイツstyle」を開発したもの。

同製品は、80デニールのゾッキ無地のもので、足首から太ももにかけて段階的に圧力値が変化する段階着圧設計をとっている。素材はナイロン88%×ポリウレタン12%。価格は1365円。日本製だ。

パッケージは茶筒をイメージしたもので、中身が見えるので消費者は安心できる。またくるくるフック付きでどんな売り場でも展開しやすいようにしている。

機能性としては、①制菌加工②静電防止③バックマーク④マチ付き⑤柔らかタッチを備えている。

カテキンの消臭効果は、洗濯を繰り返してもほとんど変わらない。

エムアンドエムソックス（大阪市、南昌義社長）は、伊藤園が開発したお茶による染色を取り上げ、カテキン染め消臭タイツ「カテキンstyle」を8月から販売する。お茶に含まれたカテキンは消臭効果が高く、しかも持続性に優れているということだ。

伊藤園は、「TーLIFE」ブランドで、自然・健康・安全に沿って開発したお茶染め繊維製品を展開している。カテキンの効力を失うことな

カテキン染めの消臭タイツ販売
エムアンドエムソックス

あみおり

サッカーワールドカップ南アフリカ大会で、日本代表がベスト16に入った。サッカーに詳しくないので、活躍をどうこういうつもりはない。だが、あまりの熱狂を不思議に思うのは記者だけだろうか。なぜ、ベスト16であそこまで騒ぐのか▼スポーツ新聞はもちろん、一般紙も1面。中面もサッカーで埋め尽くされる。テレビも朝からサッカーのニュースが続く。某局では「それではサッカー以外のニュースをお伝えします」と言っていたほどだ▼日本代表が帰国した時の新聞やテレビは、優勝したような扱いだった。パラグアイとスペインの試合は、この記事が掲載されるころには結果は出ているが、パラグアイが勝ち進んだらどうなるのか。負けたとしてもスペインとPK戦に持ち込むなど善戦し、スペインが優勝か3位までに入ったら日本の評価は上がるだろう▼ところが、サッカー以外なら話は全く違う。オリンピックでも、ほかの競技なら16位では惨敗。

JIMS JAPAN
国内最大・唯一のインナー資材総合展
Japan Intimate Material Show 2011
第12回日本インナー資材総合展